

< 年末の挨拶 > 1 年間を振り返って 学校長 丸 昇

今年、昨年の開校 20 周年を経て新たな時代に向かってスタートしました。昨年末以降 3 名の教員が転出し、その後順次新任教員が着任するなど異動がありましたが、関係者のご支援と全教職員の連携・協力のもと、教育指導の推進に努めてまいりました。

本校の使命は、地域医療に貢献する看護師の育成にあり、学生は確かな進路意識のもと入学し精一杯学業に励んでいます。数年来、今日の社会状況が背景にあると思われる様々な履修上の課題や問題も見られます。一般に目標に向かって耐える力や基本的な生活習慣、社会性の形成に不十分な面があり、豊かな人間関係、特に看護の実践に不可欠である直接的な対人関係能力の未熟な傾向が指摘されています。これらは、今や日常的な PC やスマートフォン等高度情報機器の利用に起因する面が否めません。

学業の中心となる臨地実習は、患者様はじめ関係者との円滑なコミュニケーションのもとに望ましい看護の実体験を深めるものです。対人関係能力を育み高めることは、看護師に必要な資質・能力を身に付け、晴れの卒業を迎えるために欠くことができません。

本校は、これを教育活動推進上の直面する現代的な課題として重く受け止め、全教職員の共通理解のもとに克服することができるよう、今後、学内外の授業、実習等においてこれまで以上に個々の学生の実態に応じた指導の改善工夫を図りたいと考えております。新しい年も関係者の変わらぬ叱咤激励、ご支援をお願いいたします。

~~~~ 「体験学習～札幌芸術の森～」 第 1 学年 ~~~~

9 月 10 日（水）1 学年が体験学習を行いました。2 名の学生の感想文を掲載します。

「芸術鑑賞の感想」 1 年 平田 雄己

芸術鑑賞として 9 月に札幌芸術の森美術館へ行きました。そこで、普段見ることが出来ない沢山の美術品や芸術に触れることができました。まず初めにクラフト工房では、陶芸の体験をさせてもらい、とても楽しく貴重な経験ができました。その後、広い敷地内に点在する美術品や美術館中のアート作品を鑑賞しました。特に印象に残っているのは霧の彫刻です。霧の中に入ることができ、前が見えなくなったりと面白い体験ができました。今回の体験を通して、なかなか触れることのない芸術に触れることができ、思い出に残る経験が出来たかと思えます。

「芸術の森を訪れて」 1 年 遠藤 成実

私達は、9 月に札幌の芸術の森を訪れました。芸術の森では、沢山のアトリエや工房がありましたが、その中で私が一番印象に残っているのは美術館で、色々な方法で作られた作品です。蜘蛛の糸から作られているものや、霧を使い、その日の天気や太陽の光の具合によって毎回見え方が変わるものなど、自然を題材とした個性豊かな作品を見て心が癒され、自然の素晴らしさを改めて感じる事ができました。この素晴らしさをもっとたくさんの人に知ってもらえたらと思いました。

・・・ SCHEDULE ・・・ 12/1~H27 2/6の行事・動向(含終了)  
12/1(月)3年統合実習開始(～12/19(金))  
12/16(火)富良野看護専門学校創立記念日  
12/22(月)同上振替え休日 冬季休業開始  
1/14(火)～15(水)富良野看護専門学校H27年度一般・社会人入学試験  
1/20(火)学生始業 1/26(月)1年基礎看護学実習(2/6金)  
2/6(金)富良野看護専門学校H27年度入学試験合格発表

### 第3学年研修旅行「自主研修企画レポート」から (\*原文を一部略)

11/19～21 3学年が東京方面の研修旅行を行いました。レポートを2号にわたり掲載します

研修旅行の目的であった人体に関する知識を深める、生命倫理などについては、東大の標本室を見学したことで学びを深めることができました。先生の説明を聞いたり学生同士で会話をしながら見学して疑問が生まれたり、解決することができました。東大の標本室には多くの標本が置かれていて以前は普通に生活していた方が医学の進歩のために献体して下さったことを忘れずに敬意を持ち、貴重な体験を自分の知識としてしっかり生かすよう勉強に励んで行きたいと思います。見学したことで、自分の知識がまだ身につけていないことも痛感しました。人体の構造など基本的な学習をしっかり行わないと病気についての理解を深めることができない可能性があると思うので、知識の再確認を行いたいと思います。

もう一つの目的のクラスメートと親睦を深めるという点では、私は親睦会には参加できませんでしたが、その他の自由行動では楽しみながらメンバー同士が相手を気遣うことを忘れずに行動できたと思います。自然とメンバー全体を観察していて、相手の変化に気付いたり、気づいてもらえたり、少しは観察する力を身につけられたのではないかと感じました。(略)

バスでの移動時や飛行機、東大での見学やディズニーへ移動する際には他のクラスメートと話す機会もあり、普段余り会話をしない相手の視点や考え方を知り、関係を深められたと思います。普段は学校でしか合わない友人と3日間一緒にいるとその人の新たな一面を見る発見もありとても楽しい3日間でした。同じ看護学生同士、観察している所や考えが同じだったりもして笑いの旅行でした。連続実習で遊ぶ時間が余りなく精神的にも疲労が蓄積していたところはありませんでしたが、研修旅行でリフレッシュできました、もう一度行きたいと強く思う研修旅行でした。十分リフレッシュできたので残りの学校生活を悔いの残らないように、今まで学んできたことを生かして行けるよう精進していきたいと思います。(3年A・N)

### ささやき S&T ・・・ 学生の 教員の みんなの声

S: カレンダーも最後の1枚となりました。この1年で新たに学んだことや経験したことは私の財産となりました。全ての学びや経験を糧にして成長できるように努力したいと思います(2年古川花蓮) S: 基礎看護学実習 が終わり、改めて看護ケアを実践する難しさを感じました。看護は自分の性格・特性が直に反映される鏡の様だと思いました。次回実習も経験を生かし頑張りたいです。(1年加藤飛鳥)

T: 今年も残すところ僅か。皆さんどんな1年間だったでしょうか? 自己の目標に向かって前進する毎日には、楽よりも苦が多いものと思います。「千里の道も一歩から」「石の上にも三年」です。希望と幸せにあふれる新年を!(学校長 丸 昇)

誌面構成により「耳よりヘルシー」「あんでな」は休みました。